

鹿大広報

No.153

April/2000

編集・発行
鹿児島大学
広報委員会



特集：2000年入学に寄せて

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

大学とは何か？そろそろ考えよう

歯学部長 大工原 恭



新入生の皆さん、入学おめでとう。おそらく皆さんは、合格通知を聞いて以来、目の前の暗雲が晴れたと思いで心ウキウキの状況ではないかと思います。しかし、この広報を手にする頃には、大学とは何か？何をするために大学に入ったのか？そろそろ考えるべきだと思います。

当然大学とは、学問をする所です。そして大学での学問は、自分で勉強することを意味します。これまで皆さんは、教師から教えられたことを覚え、理解することが勉強であったと思います。しかし大学では、極端な表現をすれば先生は何も教えません。むろん、考えるきっかけのようなことは教室で話をするでしょうし、これまで皆さんが知らなかったような物の考え方、知識の一部も話をするでしょう。それを基にして、さらに勉強し考えて、学問を深くしていくのは、皆さん一人一人なのです。このことをはっきり頭に入れておかないと、これから始まる一般教育は「高校と同じだ」あるいは「高校以下だ」ということになり、学問する興味を失ってしまうことになります。それでは大学に入った意味がありません。何か1つの教科でもよろしいから、自分で興味の持てるものを見つけ、自分で考え勉強するように心がけて下さい。勉強する場所、資料は図書館にありますし、それでも分からないことは先生に質問すればよろしい。大学の先生方は、学生から質問を受けるのが好きな人種なのです。むろん先生方でも分からないことは沢山ありますが、そんな時は一緒に調べてくれるはずです。とにかく、最初の1年半の間に幅の広い知識、ものの考え方、そして自分で勉強する習慣を身につけて下さい。

皆さんの中には、いわゆる不本意入学（〇〇学部に行きたかったのに、いろんな都合でXX学部に入ってしまった！）の人もいるでしょう。そういう人は、とりあえず1年間XX学部の教科の1つでもよろしい

から、自分の興味の持てるものを探してみてください。1つでも見つければ、それを通して先が見えてくるはずです。しかし、1年の間に何も見つからなかったら、try againを真剣に考えるべきです。嫌だ嫌だと思いながら大学にいても、何も身に付きませんし、時間の無駄というべきです。そういう人が落第（留年などというきれいな言葉は私は使いません）を繰り返すことになり、さらに時間の無駄を重ねてしまうのです。

最後に歯学部に入學した諸君へ。落第などはせず、1年半後には全員桜ヶ丘キャンパスに進学するように。サークル活動は大いに結構ですが、勉強と両立するように時間の配分をよく考えて。サークル活動に溺れてしまうのは、大学生本来の道から外れていることをはっきりしておきたいと思います。

次に大学院に入學した諸君へ。私に言わせれば、諸君は今人生最良の時期だと思います。学部の学生とは異なり、これからは自分の好きな教科の学問だけに没頭できるのですから。先生から与えられたテーマはむろんですが、それ以外のことについても考え、研究するようにして下さい。そして、今自分がやっている研究と同じテーマは、世界のどこかで、もっと頭の良いヤツもやっていると考え、日夜研究に没頭して下さい。研究成果は、1日でも先に発表した者が勝ちなのです。むろん、息抜きも必要ですが、御成功を祈ります。

